

令和 2 年度

歳入歳出決算補充説明

人 事 委 員 会

人事委員会関係の令和2年度歳入歳出決算の概要について、ご説明申し上げます。

はじめに、歳入決算額についてご説明申し上げます。

まず、「令和2年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」138頁の第14款 諸収入、第5項 受託事業収入、第1目 総務関係受託事業収入の公平事務受託事業収入については、予算現額、収入済額とも1万1千円であります。

また、144頁の第8項 雑入、第2目 雑入のうち、人事委員会関係分については、予算現額4万9千円に対し、収入済額が5万764円あります。

以上、人事委員会関係分の歳入決算額の合計は、予算現額6万円に対し、収入済額が6万1,764円となります。

なお、収入未済はございません。

【歳入決算】

単位：円

款 項 目	予算現額	調定額	収入済額
14 諸収入			
5 受託事業収入			
1 総務関係受託事業収入	11,000	11,000	11,000
8 雑入			
2 雑入	49,000	50,764	50,764
合 計	60,000	61,764	61,764

続きまして、歳出決算額についてご説明申し上げます。

238頁の第2款 総務費、第9項 人事委員会費、第1目 人事委員会費については、予算現額1億1,912万2千円に対し、支出済額は1億1,683万5,529円、不用額は228万6,471円あります。

支出済額の内訳としましては、人事委員会の開催、事務局職員の人件費等事務局の運営に要した経費、給与関係調査に要した経費、各種競争試験等の実施に要した経費、公平審査関係及び労働基準監督業務に要し

た経費であります。

以上、簡単ではございますが、人事委員会関係の令和2年度歳入歳出決算の概要説明を終わります。

なにとぞ、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

【歳出決算】

単位：円

款 項 目	予算現額(A)	支出済額(B)	差引 (A-B)
2 総務費			
9 人事委員会費			
1 人事委員会費	119,122,000	116,835,529	2,286,471
合 計	119,122,000	116,835,529	2,286,471

令和2年度

歳入歳出決算補充説明

監査委員事務局

令和2年度歳入歳出決算のうち、監査委員事務局関係につきまして、その概要をご説明申し上げます。

はじめに、歳入決算額についてご説明申し上げます。

まず、「令和2年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」の80頁の第9款 国庫支出金、第2項 国庫補助金、第1目 総務費補助金のうち、監査委員事務局関係分については、予算現額19万8千円に対し、収入済額が19万6,108円です。これは、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を職員の人件費に充当したものです。

次に、144頁の第14款 諸収入、第8項 雑入、第2目 雑入のうち、監査委員事務局関係分については、予算現額1万1千円に対し、収入済額が1万1,907円です。

以上、監査委員事務局関係分の歳入決算額の合計は、予算現額20万9千円に対し、収入済額が20万8,015円となります。

なお、収入未済はございません。

【歳入決算】

単位：円

款 項 目	予算現額	調定額	収入済額
9 国庫支出金			
2 国庫補助金			
1 総務費補助金	198,000	196,108	196,108
14 諸収入			
8 雑入			
2 雑入	11,000	11,907	11,907
合 計	209,000	208,015	208,015

続きまして、歳出決算額についてご説明申し上げます。

240頁から243頁になります。

第2款 総務費、第10項 監査委員費、第1目 監査委員費のうち、監査委員事務局関係分は、予算現額2億2,300万円に対し、支出済額は2億2,159万3,996円、不用額は140万6,004円です。

支出済額の内訳は、監査委員や事務局職員の人件費、監査業務に要した旅費等の事務費です。

主な事業内容としては、定期監査及び財政的援助団体等監査を行いました。

また、一般会計、特別会計及び公営企業会計の決算審査並びに健全化判断比率及び資金不足比率についての審査を行いました。

以上をもちまして、監査委員事務局関係の令和2年度歳入歳出決算の概要説明とさせていただきます。

なにとぞ、よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

【歳出決算】

単位：円

款 項 目	予算現額 (A)	支出済額 (B)	差引 (A-B)
2 総務費			
10 監査委員費			
1 監査委員費	223,000,000	221,593,996	1,406,004
合 計	223,000,000	221,593,996	1,406,004

令和2年度

歳入歳出決算補充説明

出 納 局

132 頁の第 14 款「諸収入」第 2 項「県預金利子」第 1 目「県預金利子」のうち、
出納局関係は、

予算現額 374 万 4,000 円

調定額、収入済額 368 万 41 円

となっております。これは、歳計現金の運用益であります。

また、142 頁の第 8 項「雑入」第 1 目「小切手未払資金組入」であります。

予算現額 3,855 万 9,000 円

調定額、収入済額 4,018 万 9,648 円

となっております。これは、税の還付金のうち小切手等を振出して 1 年を経過したものを歳入として組入したものであります。

また、144 頁の第 2 目「雑入」のうち、出納局関係は、

予算現額 316 万円

調定額、収入済額 1,893 万 3,156 円

となっております。これは主に一般証紙売払代金であります。一般証紙売払代金は、三重県収入証紙の販売代金から各種手数料等の納付に使用された証紙の実績額を差し引いたものであります。

【出納局歳出決算概要】

(単位：円)

款 項 目	予算現額	支出済額
2 総務費		
1 総務管理費		
1 一般管理費	367,811,000	366,240,849
9 会計管理費	279,595,000	263,395,950
出納局関係分 計	647,406,000	629,636,799

次に、歳出についてご説明申し上げます。

178 頁の第 2 款「総務費」第 1 項「総務管理費」第 1 目「一般管理費」のうち、出納局関係は、

予算現額	3 億 6,781 万 1,000 円
支出済額	3 億 6,624 万 849 円
不用額	157 万 151 円

となっております。これは、出納局職員の人件費であります。

また、188 頁の第 9 目「会計管理費」につきましては、

予算現額	2 億 7,959 万 5,000 円
支出済額	2 億 6,339 万 5,950 円
不用額	1,619 万 9,050 円

となっております。支出済額の主なものは、財務会計システム及び電子調達システム（物件等）の運用に要した経費、証紙販売手数料及び会計年度任用職員の人件費等であります。

以上で歳入歳出決算の説明を終わり、引き続き財産の管理及び処分につきまして、その概要をご説明申し上げます。

地方自治法上、財産は公有財産、物品、債権及び基金の 4 種類に分類されており、このうち、出納局におきましては基金にかかる現金等を保管・運用しております。

592 頁の次頁以降が「財産に関する調書」となっており、同調書の 13 頁から 24 頁に各基金の状況を記載しておりますが、総括して次表により説明いたします。

【36 基金の状況 総括表】

区分		前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
不動産	土地	— m ²	— m ²	— m ²
	建物	— m ²	— m ²	— m ²
動 産		120,662 点	81,342 点	202,004 点
有 価 証 券		(26,731,634,643 円)	(△1,140,612,324 円)	(25,591,022,319 円)
		26,731,634,643 円	△1,140,612,324 円	25,591,022,319 円
現 金		(35,476,928,671 円)	(7,801,829,822 円)	(43,278,758,493 円)
		38,429,914,265 円	18,850,479,557 円	57,280,393,822 円
計		(62,208,563,314 円)	(6,661,217,498 円)	(68,869,780,812 円)
		65,161,548,908 円	17,709,867,233 円	82,871,416,141 円

注) ()は、出納整理期間も含めた積立・取崩後の額。

令和2年度決算にかかる36基金を合わせた出納整理期間後の決算年度末現在高は、688億6,978万812円で、前年度末現在高に比べ、66億6,121万7,498円増加しております。

なお、基金については、确实かつ効率的に運用し、1億1,378万588円の運用益がございました。

続きまして、令和2年度三重県歳入歳出決算審査意見書により、監査委員からご意見をいただきました事項に対する、出納局の取組をご説明申し上げます。

金品亡失(損傷)につきましては、各所属への依命通知や各種研修会において注意喚起するとともに、原則として県の損害額が10万円以上で、かつ職員の不注意の度合いが相当高いものについて、所属長への文書指導を行い、講じた措置について報告を求める等公用車運転時の交通安全意識や金品の管理意識の向上に努めています。

財産管理等につきましては、物品購入利活用書を活用した高額物品の適切な取得・管理、3年ごとの悉皆調査による遊休物品の現状確認等、「みえ物品利活用方針」に基づく取組を進め、物品全般について適切な取得・管理・利活用・処分を図っています。

資金の運用につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響など資金の需給をより正確に把握するとともに、債券による短期運用・中期運用等の実施により、今後とも安全かつ効率的な資金運用を行ってまいります。

財務事務につきましては、会計規則等関係法規の遵守徹底や事務処理ミスの削減に向けて、会計事務にかかる検査、相談、各種研修等を実施しています。あわせて、会計事務職員等に対し会計事務に関するチェックリストの活用を働きかけ、チェック機能の向上を図っています。また、少人数職場の会計事務初任者を対象としたハンドブックを初任者研修や出納検査等に活用し、会計事務職員等の能力向上を支援しています。さらに、会計事務にかかる検査において、令和2年度から導入された内部統制制度を踏まえた指導や評価を行うことにより、会計事務職員等に対し法令遵守の徹底を図り、適正な会計事務の運用に努めています。

以上をもちまして、令和2年度決算並びに財産についての説明を終わります。
なにとぞ、よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年度

歳入歳出決算補充説明

議会議務局

令和2年度三重県一般会計歳入歳出決算の議会事務局関係について、その概要をご説明申し上げます。

【議会事務局歳入決算概要】

(単位：円)

款 項 目	予算現額	調定額	収入済額
9 国庫支出金			
2 国庫補助金			
11 議会費補助金	2,461,000	679,522	679,522
14 諸収入			
8 雑入			
2 雑入	18,247,000	18,285,418	18,285,418
合 計	20,708,000	18,964,940	18,964,940

まず、歳入についてご説明申し上げます。

お手元の「令和2年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」110頁をご覧ください。

第9款「国庫支出金」第2項「国庫補助金」第11目「議会費補助金」は、

予算現額 246万1,000円
 調定額 67万9,522円
 収入済額 67万9,522円

となっております。これは、事務局職員の時間外勤務手当等に充当した新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金であります。

次に、144頁の第14款「諸収入」第8項「雑入」第2目「雑入」のうち、議会事務局関係分は、

予算現額 1,824万7,000円
 調定額 1,828万5,418円
 収入済額 1,828万5,418円

となっております。収入済額のうち主なものは、令和元年度に交付した政務活動費のうち、実績額との差額を返還いただいたものであります。

【議会事務局歳出決算概要】

(単位：円)

款 項 目	予算現額	支出済額	不用額
1 議会費			
1 議会費			
1 議会費	1,404,466,000	1,387,034,594	17,431,406
合 計	1,404,466,000	1,387,034,594	17,431,406

次に、歳出について申し上げます。

174 頁の第 1 款「議会費」第 1 項「議会費」第 1 目「議会費」は、

 予算現額 14 億 446 万 6,000 円

 支出済額 13 億 8,703 万 4,594 円

 不用額 1,743 万 1,406 円

となっております。

支出済額の内訳は、

 議員報酬等に要した経費 7 億 3,360 万 5,186 円

 議会運営に要した経費 3 億 1,946 万 4,517 円

 事務局職員の人件費に要した経費 3 億 3,396 万 4,891 円

であります。

以上をもちまして、議会事務局関係の令和 2 年度三重県一般会計歳入歳出決算の概要説明を終わらせていただきます。

なにとぞ、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。